

遊：游泳

獲：獲捕獲

旬：旬併旬

枯木に氷結して水晶の花を咲かす 寒サノ烈シイ冬ノ時分ハ、瀑ノ水ハ、落チルニツレテ水リツキ、スツカリ、玉デ作ツタ山カ銀デ作ツタ臺(小高クテ平カナ地)ノ様ニナリ、水ノシブキガ枯木ニ氷結シテ、水晶ノ花ヲサカス(咲イタヤウニナルトイフ意)

二。名状すべからず……タトヘ様ガナイ 雄を争ふ……勝ツ事ヲ争フ 傳説……世間ノ言ヒ傳ヘ 上層……ウハカサ 奇勝……メツラシイ景色 壯觀……サカンナ景色

三。(い)神戸市に近き布引の瀧は雄瀧雌瀧の二つあり市民遊覽の地にして又水道の源なり

(ろ)霞か霧か又は煙か

第五十章

一。(い) 御宮ニ參ツタナラハ、昔ノ風ソハ、ノ建物ヲ見ルデアラウ。

(ろ) 小チヅニ、取入レ高ノ多カラウトイフコトヲ競争シテ居ル。

(は) 學問ヲスル者ハ、只、自分一人ノ爲ダケデナク、國ヤ世間ノタメニ盡サウトスル心掛ガ大切。

二。上旬……一ト月ノ中一日ヨリ十日マデ 右往左往……右ヘイツタリ左ヘイツタリ 手

練……手ギハ 半月形……三日月ノ形 浮沈……ウキシツミ

三。烏帽子 擧つて 槍 雲雀 毛氈 鞍馬山 勞る 法會 獻立 建立

四。(い) 悲しき……にあらざるや (ろ) 勉強せざるべからず (は) 魚を捕ふることを得たり (に) 手より汗出づ (ほ) 白布をさらせる如し

五。恐る 並ぶ 圍む 薪 呑み込む

第五十一章

一。(い) その熟練驚くべきにあらずや……ソノ手馴レタ事ハ驚クベキ事デハナイカ

(ろ) 作業の速にして整然たるには感嘆せぬものなかるべし……仕事ヲスルノガ早クテ順序ガ整ツテアルノニハ、アアト感心セヌモノハナカラウ。

(は) 百年の長命を保たんには衛生を重んじ加ふるに適度の運動を要す……百年モ長イキラシヤウトスルニハ、衛生ヲ大切ニシテ、ソノ上ホドヨイ運動ガ必要デア

(に) 意のまま行動せば後悔少なるべし……思フトホリニ事ヲヤツタラ、後悔ガ少クアルマイ。

(ほ) 朝早く起きて冷水摩擦を行ふを常とす……朝早く起キテ冷水摩擦(冷たい水ヲ身體ヲコスル)ヲスルノガオキマリ。

衛：衛官衛

摩：磨練磨

汽…流

- 二。精巧…細工ガ細カクテ上手ナ事 機敏…スバヤイ事 半紙大…半紙ホドノ大
- 鉄條網…鐵線ヲ網ノ形ニカケワタセルモノ防備ニ用フ 注目…目ヲツケル事
- 三。紡績機械 蒸汽機關 蠟燭 蜘蛛の絲 注ぐ 延ばす
- 四。犬が庭園の池で姿を寫してゐる 遊戲にのみ時を費して勉學せざるものは必ず後悔することあるべし 本月中旬詩歌に名高き和歌浦へ見物に出かける。

作文

永々御無沙汰申し居り候處、何の御變りもこれ無く候由御めてたく存じ候。さて、今日は「實業の天地」御送り下され、いかにも面白く、又有益らしき書物にして、よこごに有難く、うれしく拜受致し候。御かげにて、今日より、學科復習後の又こなき友を得候へば、日永の春も退屈する如きことも無しと思ひ喜び居り候。唯今登校前に候へば、唯御返事のみ申上げおき候。何れ近日參上御禮申上ぐべく候へども、御兩親様へも、よろしく御傳へ下され度御願申候。 頓首

第五十二章

I 硝子を障子と誤るな
II 喉のつくり誤候とするは

- 一。網…アミ 網…ツナ 穫…米ナドヲトルコト 獲…鳥獸ヲトルコト 牧…牧場
- 二。樫…カシ 雉…トビ 蟻…アリ 樺太…イタリヤ 硝子…II 喉
- 三。吐く…ハク 巢…アソ 醸造…アサケ 蚯蚓…コナシ
- (イ) 蜜蜂ガ蜜ヲハキ出シ、又ウマク巢ヲ作ルノハ、酒醬油ナドヲ作ル仕事ト、家ヲ建ル仕事トヲ、二ツ一緒ニ兼ネテアルト言ハウカ。(サウ言ウテヨカラウ)
- (ろ) 蚯蚓ノ働バ、百姓ガ田ヲ耕スノニ、似テハ居ラナイカ。
- (は) 父母ノノゾミドホリニシテ、サカラハヌ様ニセウトイフ事ヲ心ノ中ニキメテキル。

第五十三章

- 一。(い) 水ハ大キナ都デハ、時ニヨルト、價ノデルコトガアル。コレハ飲ミ水ガ少クテ思フ通りニ、水ヲ手ニ入レル事ガ出来ナイカラダ。
- (ろ) 他ノ人ノ手ニ渡ルデアラウカトイフ事ヲシンバ、イシテ、ワレト高イ直ラツケルデアラウ。
- (は) 物ノ價ハ、イツモ、造ツタ入用ト、ソレ相當ノ利益トヲ合シタ金高ト同ジ様ニナラウトスル様子ガアル。
- (に) 明日ニナツタラ、通例ノ空氣ノ溫度ニカヘルガ、ヒヨットシタラ、マダ、ソレヨリ下ニ降ルデアラウ。

晝…晝晝夜

(イ) 書や晝ノ様ナ、品物ノ分量ニ限リノアルモノハ、キマツタ價ガナイ。
 二。隨意…思フマ、需要…入用 關係…アヒダガラ 脂肪…體ノアブラ
 貨物集散…荷物ガ集ツタリ他ヘ出タリスル事。

三。(イ) 日光空氣の如きは人の命を保つに必要なれども、隨意に得らるゝもの
 なれば之を買ふ必要もなく随つて價の生ずる事もなし
 (ロ) 父母に孝行を盡さずしてよからんや。
 (ハ) 豈感心すべき話にあらずや。

第五十四章

住…往來

一。(イ) 時ノタツノハ、矢ノ様ニ早イモノデアル。
 (ロ) 住居シテミルト、ツマラヌ所デモ善イ所ノ様ニ思ハレル事。

(ハ) 仕事ニ追ヒマハサレル―急ガシイ事。
 (ニ) 此上モナク暮シヨイ。

二。新版圖…新タナ領地 凍結…イテツク 流域…流レノ區域 地味…土地
 ノヨシアシ 特殊…特別 極北…北ノハテ 採掘…掘リ取ル事 開拓…荒
 レタ地ヲヒラクコト 着手…物事ニ手ヲ着ケル事 有望…見込ノアルコト

*凍の偏をシ
にすな
特…所持

三。(イ) 山脈低くして東西の交通最もよし。

(ロ) 此の地は麥の收穫も多く牧畜にも適し候

(ハ) 諸種の經營漸く成功せり

(ニ) 先般來は寒氣殊に厳しかりき

第五十五章

一。漢朝 復興 圖り 訪ひ 迎へ

未…未來

(イ) 劉備ハ漢ノ朝廷ノチスデデ、勝レテ賢クテ大キナ志ガアル、漢朝ノモウ一度盛ンニナル
 様ニモクロンデ、一生懸命ニ賢イ人ヲサガシタ。

(ロ) 孔明ノエライ人ダトイフ評判ハ、世間デタ、知ラヌ人がナイカラ、二度モ、孔明ノ世ヲ
 ハナレテ住ンデ居ル處ヲ尋テ行キ、トウ、來テモラツテ、重ナル臣トシタ。

(ハ) 自分ニ孔明ガツイテキルノハ、チヤウド、魚ニ水ガアル様ナモノダ、ドウカ、二度トハ、
 (カレコレ)言ウテ呉レルナ。

(ニ) 自分ノ子ガ、若シタスケルダケハ甲斐ガアツタラ之ヲタスケヨ、若シ、愚ナ物デアツタ
 ラ、君ハ自分デ、我子ニ代レ(サウシテ天下ヲ治メヨ)

(ハ) 私ハ、オシ切ツテ、命カギリノカラ出シテ、忠義ヲ致シマシヤウ、ドウカ、安心シテ下
 サイ。

二。麻の如く亂る…麻ノモツレタ様ニミダレル 耕作を事…田ヲ耕スコトハ

答 案 第五十四、五十五章

*卒：ソツミ
よめば兵卒の
ことになる

カリシテキル 言を用ふ……人ノ言フコトヲ聞キ入レル 卒するに臨みていふ……
死ニギハニナツテ言フ ささす……イヒキカス 信賴……タヨリニスルコト 軍師……
…軍ノ謀ヲスル人 首相……總理大臣 ゆだね……マカス。

三。楠木正成は後醍醐天皇に仕へ奉り謀を運らして大に賊軍を千早の城に敗りぬ

第五十六章

智……知承知
*舊の下旬を
田に誤るな
謀……媒媒介

一。臨機應變……物事ノ起ツテクルニツレテ、ソレニ相當ノ處置ヲスルコト 智謀百出……
…謀ガイクラデモ澤山出ル事 對立……ムカヒ合セニ立ツ事 陣營……陣屋 舊功……
モトノ手柄 度量廣大……心ガ廣ク大キイ事 嚴正……キビシクテ正シイ 引責……
失敗ノ有ル時官ナドヲ辭職スルコト 沈着……オチツグ事。

- 二。(い) オモヒ、カヲ世間ノ人ノタメニ入レタ。
- (ろ) ハシクレノ言葉デモ。忠義ノマゴコロカラ出テキル。
- (は) 軍ノ規律ヲ無茶ニスル事ヲ心配シテ、涙ヲ流シナガラ斬ル。
- (に) 此様ダト知ツタラ、何デマケヤウカ負ケハシナイ。
- (ほ) アナタハ、天カラ授カツタ智慧ノアル人ダ。敵スルコトハ出来ヌ。
- (へ) ヨチラヘ攻メテ來キウトスル様ダ。

*刈の字上にサ
なづけな

三。敵地に攻め入りし時、士卒に令して、墓の附近の草を刈り、薪を伐るを禁じたり。
幼き君を輔け、益心を用ひて、民福を圖り、忠義を盡して變らざる事、先の皇帝の時の如し。

第五十七章

冠……冠元冠

一。(い) 秋ノ夜ノ長イ頃ニハ、衣ヲ打ツウチ臺ノ音ガ、村ト村トカケアウテ聞エル。
(ろ) 韓國モ、近頃ハ斬髮ニスル風ガハヤツテ、冠ヲカブル禮式ハ、ダンク衰ヘテユクトイ
フ事デアアル。
(は) 米ノ無いハ、マダ辛抱ガ出来ル、薪ガ無カッタラ、命ヲツナグ事ガ出来ヌトイフ諺ガ
アル。

- 二。(い) 田舎に行かばくらしやすからん
- (ろ) 低くして小さき家は、夏凌ぎがたし

三。吳服反物 簞笥 制限 價格 家柄 機敏

第五十八章

一。手を空しうして坐食せば財産を失ふに至るや必せり 何モセズニ、遊ンデ食ツ
テキタナラバ、財産ヲツブス様ニ成ルハ、キマリキツテアル。

はじめは容易に諾せざりしが利害を説きてきかせたるにさらばこて降りぬ
初メハ、タヤスクウント言ハナカッタガ、カウシタラ利益ダ、ア、シタラ損ダト、話シテキカシテ
ヤツタノデ、ソレデハト言ツテ降参シタ。

親切公平ならば人たれか敬愛せざらん 親切デヘンバナ事ガ無カッタラ、人ハ、誰レ
カ、敬ヒ愛シナイモノガアラウカ。

二〇 ころは淋しき村なれど酒醬油は言ふも更なりいかなる器具もこのはざ
るはなし コ、ハ淋シイ村デハアルガ、酒ヤ醬油ハ言フマデモナク、ドノ様ナ道具デモ揃ハヌ
モノハナイ。

三〇 勸業……農業工業ナドラス、メハゲマス事 舊家……昔カラツバイテアル家 改選……
……アラタニ選舉スル事 勤績……永クツトメ續ケル事 着實濃厚……オチツイテ物ヤハ
ラカナ事 節約……入費ヲシマツスル事 編成……アミ造ル事 整理……物事ヲト、
ノヘル事 豫算……金子ヲ出ス前ノ勘定 原案可決……モトノ儘ノ考ヲヨイトシテキメ
ル事

四〇 養蠶 模範 職務 經費 犯罪 支出

第五十九章

一〇 (一) 神武はるけき昔より君臣分は定まりて萬世一系動きなき我が皇室の

原…源水原

*犯のつくり
を已にする

系…糸い
仰…抑そし
く

大みいつ光仰がぬ人ぞなき 神武天皇ノ遠イ昔カラ、君ハ君、臣ハ臣ト身分ガ定マ
ツテアツテ、萬年ノ後マデモ同ジ御血筋デカハリノナイ、我皇室ノ御威光デアアルガソノ御光
ヲアリガタイト思ヒ仰ガヌ人ハナイ。

(二) 建國以來三千年歴史の跡にかんがみて日進月歩たゆみなき同胞こゝ
に五千萬 國ガ始マツテコノ方、三千年間ノ歴史ノスギサツタアトヲ手本ニシテ、日々
月々進ムバカリデ、少シモカラヌク様ナ事ヲシナイ、兄弟コ、ニ五千萬人アル。

(三) 東洋平和の天職はかゝる我等の肩の上東方文明先進の任務は重き日
本國 東洋ヲ平和ニスル所ノ天カラ與ヘラレタ役目ハ、カカツテ我々ノ肩ノ上ニアル。世
界ノ東ノ方ノ文明ヲ開キ、他ノ國ヨリモ眞先ニ進ンデ行カナケレバナラヌ其役目ハ、實ニ重
イ所ノ大日本帝國デアアル。

(四) 修身の徳是なりと教育勅語のりたまひ戦後経営かくこそ戊申の詔
書かこしこしや 身ヲ修メテユク道德ハ是デアアルゾト教育勅語ヲ仰セラレ、戦後ノ經營
(第三十九章ヲ見ヨ)ハ、カウアルベキモノデアアルゾト戊申詔書ヲ御下シニ成ツタ、實ニ恐レ
多イコトデアアル。

(五) 瑞穂の國と農業は開けぬ地なし野も山も 昔ハ、日本ノ國ノ別名ヲ瑞穂ノ國
トイツタガ(瑞穂國トハウルハシイ米ノ取レル國トイフ事デアアル)ソノ通りデ、野モ山モ、農
業ノ開ケヌ處ハナイ。

*戊を戊又は
戌と誤るな

努…奴奴隷

二。光あまねし…光ノ行キワタラス所ハナイ 遺風…先ノ人ノ殘シ置カレタル氣風
努力…物事ニ精出スコト 長を探り短をすつ…善イ所ヲトツテ惡イ所ヲステル
拔粹…ヨイ所ヲヌキトル みここをたふさぶ…勅語ヲアリガタク思ヒ尊ブ

第六十章

治…治

一。神代カラ、承ケ繼ギタル三種ノ神器ヲ守トシテ、日本國ヲ治メテキタ。
(ろ) 古代ノ事ヲ書イタ書物ヲ見ル度ニ、思フ事デアアル。朕ガ治メテキル今ノ日本國ハ、如何
デアラウカト。

(は) 祖先ヨリ承ケ繼ギシ、國家ノ柱ノ動キ狂ヒナク、榮エテユク御代ヲ、尙一層榮エサセタ
イト祈ル事デアアル。

(じ) 國民ハ、心ヲ協シテ、朕ガ祖先ノ神ノ遺訓ヲ守ツテキル。

(ほ) 鍛ヘタ劍ノ光ヲ尙著シク内外ニ輝カセ、ワガ軍人等ヨ。

(へ) 戰場ニ立ツモノモ、立タヌモノモ、國家ヲ思フ心ニ變リハナイ。

(ど) 波風ノ立タヌ日モ船頭ハカヂヲ取ルニ油斷ラセズニアツテホシイモノダ。

二。(い) 陛下ハ、政治ヲ御覽ニナル片方デハ、何時トイフ事ナシニ折ガアルト、御詠ヲ遊バサル
ル御覽ガ、甚ダ澤山ニ御有リナサレ。

(ろ) 文ト武ト、道ハ違フガ、國ニ盡ス真心ハ同シ事デアアル。
(は) 太平ノ時ニ、戦争ノアル事ヲ忘レナイ覺悟ガ有ツテコソ、目的ヲ爲シ遂ゲル事ガ出來ル

忘…妄

問(に)の祖
を衣(ん)にす
鍛…鍛

*拜のつくり
注意せよ

三。處世…此ノ世ニ暮シテユク事 祖宗…陛下ノ御先祖ノ御事 聖世…陛下ノ御
德ニヨツテ、ヨク治ツテアル御世 盛運…盛ンナ運 信賴…信ジテタヨル事
大御心…陛下ノ御心 拜察…謹シテ推察スル事 連敗…負ケ續ケ 空前…
…コレ迄ニ無イ事。

四。皇國ノ興廢此ノ一戦ニアリ各員一層奮勵努力セヨ
包圍攻撃ヲ加ヘシカバ覺悟ヲ定メ部下ト共ニ降服シテ捕虜トナレリ

第六十一章

一。距離 火災 幕下 組織 綿密 設計 煙突 眞鍮 附屬

二。命中…目アテノ物ニアテル事、又ハ言ヒアテル事 應戰…敵ノ仕カケタ戦ノアヒテ
ニナル事 麾下…軍人ノ部下 集中…同一場所ニ集ル事 奇績…メツラシイ手柄
加護…神佛ノ御マモリ 成果…成功シタル結果 御稜威…御威光 無二無三
…前後ヲ考ヘズニ物事ヲスル事 四分五裂…バラバラニ分レ裂ケル事 無慮…
大方 勇進敢戦…勇マシク押シ切ツテ進ミ戦フ事。

三。故なきに非ず…譯ガ無イデモ無イ 物こもせず…何トモ思ハヌ 逃げおほす

*距のつくり
臣に謀るな
密…蜜
幕…幕した
績…蹟古蹟

與...與與腹

- ...逃ケ通ス、信ずる外なし...信シヨウヨリ仕方、ガ無イ、勝を制す...勝チオホセル 退路を絶つ...逃ケ道ヲ絶チ切ル。
- 四。人爲 神靈 對ふ 感激 與つて
- (イ) 戦争シナイ前ニ勝敗ノ道理ハモハヤキマツテアル。
 - (ロ) 人ノ仕業デハ、出來ル所ノモノデハナイ。
 - (ハ) 代々ノ天皇ノ御心ニ報イル事ガ出來タ。
 - (ニ) 此ノ上モナク感シテ元氣ガ高マリ、如何ニ言ウテヨイカ、言ヒ様ガワカラヌ。
 - (ホ) 關係シテ功勞ガ有ツタト言ウテ宜シイ。

第六十二章

- 一。 (イ) 尋ネタイモノダ、古イ時代々々ノ遺蹟ヲ。
 - (ロ) 與ツタリ亡ビタリスル事ハ、皆夢ニ似テ、ハカナイモノデアアル。
 - (ハ) タスケノ軍ノ來ル日モ、アテニスル事ガ出來ヌ。
 - (ニ) 昔モ今モ、勇氣アル士ノ氣ダテハ、非常ニヨク、似タルデハナイカ。
 - (ホ) 身ヲ安全ニシテ、先祖コノ方、勇氣デ名ヲアゲタノヲ辱シメナサルカ。
- 二。 攻めあくむ...攻メルノニモテアマス さもあらん...サウデモ有ラウ急を告ぐ...危ナイ事ヲ知ラス 圍を解く...攻メ圍ンデキタノヲヤメル 夜に乗じて進む...夜ニツケコンデ進ム あぎこぶ...魚ガ水面ヲハナレテ、フワ

脊...背腹脊
肋...助救肋
繕...膳食膳

*査の下且に
諷るな
*坐はすはる
こも。座はす
はる場所。

第六十三章

- カワト呼吸スル事ライフ ついばむ...鳥ガ餌ヲ食フ。
- 三。 散布...マキ散ラス事 消費...ツカウテシマフ事 密接...ピツタリトツク事 悲憤...悲シミ怒ル事 消息...タヨリ 四散...四方ニ散ラバル事 下界...此ノ世界 要素...物ノ成立ツモト。
- 四。 脊骨 肋骨 實際 倉庫 橋 修繕 塗替 船渠 關係 測候所
- 五。 觀音 符號 瓦斯 悲歎 建坪 計畫 栽培 海峽
- 第六十三章
- 一。 調査 官廳 揭示 出帆 酸素 家康 新羅 叱る 陥る 蒸す
 - 二。 露坐の大佛...屋根ナキ處ニ坐スル大佛 天下の大勢...天下ノ大體ノ形勢 長圍の計...長イ間攻メ圍ムハカリゴト 家門の譽...一家一門(同ジ家筋)ノ名譽 侍女...御側附ノ女 志操...ココロザシミサヲ 家政...一家ノ暮シムキ
 - 三。 自若 採光 見ゆ 圖れ
 - (イ) 戦争ノ時ニ、夫ノ名譽ヲソコナハヌ様ニシタハト、其ノ德ニ優劣ガナイト言ハウカ(サウ言ツテヨカラウ)。
 - (ロ) ドノ様ニ非常ナ變リ事ニ會ウテモ、平氣デ、平常ノ様子ヲ變ヘヌ。
 - (ハ) 風ノ通フ事、光線ヲ採ル事、ドチヲモ、ヨ小都合ニ成ツテアル。

再...爾爾來

(12) 平生ニ於テ、思ヒガケモナキ不仕合ニアタツタ時ノ切り盛リノ方法ヲ考ヘテオカヌト、其場ニ成ツテ、見惡イ行ヲスル事ガアラウ。

第六十四章

- (イ) 人物ノイル事ハ、昨日ヨリ今日、今日ヨリ明日ト一日増シニセマツテクル。
 - (ロ) 天下中デメツタト見ナイ事ダ。
 - (ハ) 自分勝手ノ事ノ爲ニ、オカミノ事ヲステテオカヌ。
 - (ニ) 或事情ノタメニ互ニ仲ガワルイ。
 - (ホ) 老年デ、トテモ、私ノツトマル役目デナイトイウテ断ル。
 - (ヘ) ソレデハ、誰ガ然ルベキ人デアラウ(ヨカラウ)。
 - (ト) 戦争ノ手柄ノ評判ガ高イ。
 - (チ) 遇ツタラ、キツト、恥ヲカカシテヤラウ。
 - (リ) 二匹ノ虎ガ互ニ闘ウタラ、ソノ力ニ優劣ガナイノデ、ドチラモ死ンデシマフ。
 - (ぬ) キツト、昔ノ人ノ學問ノ意見ニカ、ハルトイフワケデモナイ。
- 二。舉行...式ナドヲ行フコト 普及...ユキワタル事 觀光團...他國ノ土地風俗ヲドヲ視ル團體 設備...備ヘ設ケル事 推舉...人ヲス、メアゲル事 水魚ノ交...仲ノヨイツキアヒ 無二ノ友...又トナイ友達 非をささる...惡カツタトイフ事ニ

普...音

*封をふりこ
紙なごき封す
る意なる封す
委...悉
*暇のつくりに
を段に誤るなり

氣ガツク 地を封ず...土地ヲヤツテ大名ニスル。

- 三。落成 學務委員 發達 蝦夷 憲法發布 何處 鋸

第六十五章

- 一。寄附金 細片 溶解 起原 誤解 馬匹 狹小 漆器 陶器
- 二。(イ) 人數ヤ家數ガ、ゴク少ナカッタガ、近頃ノ年ニナツテ、ニハカニフエタ。
(ロ) 色々ト物ハアツテモ、魚ヤ貝ハ、海ノ産物ノ中デハ、第一番目ニ居ルモノダ。
(ハ) 自分モ、自慢ヲナシ、人モ、モツトモダト許シテ、ソノ名ハ外國ニモヒビキワタツテアル。
- 三。うまし國...善キ國 千里比隣...千里ノ遠イ處モ隣ノ様ダトイフ事 平和の戦
争...太平ノ世ニ行ハル、イクサ、商業上ノ競争ナド 屈指の市場...指折リノ市場 天
産...自然ノ産物 原則...モトノ規則 精通...詳シク知ツテキル事 嗜好品...
スキナ物

第六十六章

- 一。家畜 西陣織 羽二重 瀬戸物 蒔繪 火鉢
- 二。理法...規則 情況...有様 増殖...増シフヤス事 總管...統ベツカサドル事
駐劄...公使ナドノトドマリキルコト 支線...分レノ線 死守...命ガケデ守ル事

畜...蓄貯蓄
陣...陳陳列

答 案 第六十四、六十五、六十六章

- 三。(イ) 商人ハ、ハヤリノ、移リカハツテ行ク所ヲ考ヘネバナラス。
- (ロ) 信用ヲ失ウタハテハ、家ノシンシヤウヲ失フ様ニナル事ヲノガレス。
- (ハ) 國ヲ富マストイフ事ガ、出來ルカ出來ナイカハ、日本商人ノ信用ガアルカドウカ、勤勉デア、アルカドウカ、スバヤイカドウカトイフ處ニアル。
- (ニ) ヒイキニシテモラフノニ親シミ過ギテ、目上ノ人ヲ侮ツテハナラス。
- (ホ) イ、効力ノアル方法 ロ、費用ヲ出ス

第六十七章

- 一。同胞 適ひて 雅麗 誇り 聳ゆ 創設 固より
- (イ) 我が國民(同胞ハ兄弟ノ事ダガ、同一國民ノ事ニモイフ)ノ血ヲ流シタ處デ無イ處ハナイ。
- (ロ) 汽車ニ乗ラウカ、サウスルト(乗ルト)マブタヲシヨボツトスル間(少シノ間)ニ越エテシマフデアラウ。
- (ハ) 此ノ地ハ風景スグレテヨク、家ノ建築モ、之ニ相應シテ、ヤサシクテ美シイ事ハ、比ベ物ガナイ。
- (ニ) 自分ニ勝ルモノ、無イノヲジマンシテ高クソラニ聳エテキル。
- (ホ) 始メテ設ケテカラ日ノタツ事ガ少イカラ人ノ目ニツクモノノ少ナイノハ、勿論不思議ニ思フニアタラヌ事デアル。
- 二。炭層 存炭ノ層 根據 所 架橋式 橋ヲカケル式 首府 政府ノ

胞 泡

アル都會 土着...ソノ土地ニ住ミツイテキル事

- 三。町幅狭けれども、掃除行きとぎ衛生消防等百般の設備具はらざるなく市街繁華にして車馬の往來織るが如くなれども危険もなく混雜を來すこともなし
- 四。(イ) いつぞや丁稚一名御入用の由承り候がもはや御取極成され候や
- (ロ) 此の者は鹿兒島在の生れにして、私の友人の弟に候
- (ハ) 今年十四歳にして尋常科卒業の由にき、居り候
- (ニ) これぞさいふ取柄は無けれご正直なる事が何よりの長所かご存じ候
- (ホ) 若し未だ御取極なく又本人に御出あひの上御氣に召し候はば、試に、御使ひやり下されたく候

第六十八章

- 一。(イ) 道ニ當ツテアルモノハ、ドレ一ツトシテ、コレヲ邪魔スル事ガ出來ナカツタ。
- (ロ) 食物ヲタツネ進ンデ、其ノ住居ヲカヘル事ハ、遊牧ノ民(牧畜ヲ仕事ニシテ水草ヲ追ウテ轉住スル民)ト同ジ事ダ。
- (ハ) 儲ケガ無クナルト、故郷ニ歸ルノガイツモノキマリダ。

防 妨 防禦 能 熊 熊 能

郷 卿 公 卿

壯... 莊別莊
腹、胸、腰

冠... 寇倭寇

* 缺を欠にす
るは誤

爪... 瓜
つめに つめな
しうりに つめ
あり
議... 儀儀式

機... 機機機
快... 快

(12) 時ニヨルト、廣々トシタ大川ノ流ヲ見ル様ナ、サカンナ景色ヲスル。
(13) 進ンテ行ク先々ニ、何ガ有ツテモ構ハヌカラ、水ニオチコソデ魚ノ腹ノ中ニ葬ラレル者
(水中デ死ヌ者) ガ如何程アルカ知レヌ。

二。期せずして集る... 約束モシナイノニ集ル 飢饉をしのぐ... ウエルノヲ支ヘル
刻々にせまる... 一分一分ニセマツテ來ル 危害を顧みず... アブナイ事ヲカマハヌ
天下に冠たり... 天下中デ第一番ダ

三。大舉... 人ノ有ルダケ全部 缺乏... 足ラヌ事 埋没... 埋レテシマフ事 將來
... 行ク末 憂苦... 心配 客遊... 他地方へ遊ビニ行ク事 主張 言ヒハル事

第六十九章

四。凱旋 獅子 燕 爪牙 號砲 勳章 不思議
一。進取 覺悟 引込思案 徒に 優柔不斷 時機 快活
進取の氣象に富める人... 進ンテ事ヲスル氣ノ盛ナ人 成功は期せずして到る...
... アテニシナイデモ成功スル 思ひわづらひ... 心配シテ 優柔不斷... グズ〜ト
物ガキマラス事 着手... 手ヲツケル事 時機... 折 快活... 心ノイキキシタル
事 熱誠事に當らば... 熱心ニ事ヲヤツタラ 天下何事カ成らざるを憂へん...
... 天下中デ如何ナル事ガ出來ストイウテ心配スル事ガ有ルモノハカ

問題(に)順の
つくりを見に
誤るな

廢... 廢廢疾
反... 叛叛亂
復... 復復雜

思... 恩君恩

且... 且元且

欲... 慾忍慾

二。(い) 苦勞ハ辛棒セヨ。イヤニ思フナ。
(ろ) 年寄ツテカラ後悔シテモ、甲斐ガナイダラウ。
(は) 人ノ功ヲネタシダリ、自分ヲハカナイモノト思フノハ、多クノ害ハアルガ、少シノ益モ
ナイ。
(12) 過ぎ去ツタ事ハ、ドウスル事モ出來ヌ。行先ヲ見テ、アトヲフリ向ク事ヲヤメヨ。
三。命名... 名ヲツケル事 引見... 呼ビ寄セテ出アフ事 四隣... 四方ノ隣 西曆
... 西洋紀元 大洋... 大海

第七十章

四。整頓 遺言 奪掠 勉勵 廢學 叱罵 幕末 反復
一。(い) かれ思へらく位人臣の榮を極めんご 彼ガ思フハニ位ハ人臣トシテ此上モナ
キ處マデ進マウト。
(ろ) 不義にして富み且貴きは我に於て浮雲の如し 道ニ外レタ事ヲシテ富貴ニ
ナルノハ自分ニトツテハフワ〜シタ浮雲ノ様デアル。
(は) 遠き慮なければ近き憂あり 後々迄ノ考ガナイト、テデカニ心配ガ起ル。
(に) 富貴は人の共に欲する所なり 富貴ハダレデモ成リタイト思フ所デアル。
(ほ) 心廣く体ゆたかなり 心ガ廣々トシテ身體ガユツタリスル。

未…未始末
意…意畢竟
を濟のつくり
を齎と誤るな

- 二。未明…夜ノアケ方 暴舉…亂暴ナヤリ方 無謀…考ノ無イ事 意見…考
- へ 不安…落チツカズ事 救濟…スクヒタスケル事 疏食…粗末ナ食物
- 三。落成 巖島 裸麥 犯罪 臨時雇 駱駝 鳥打帽 桓武天皇
- 四。(い) かの軍艦は、あだかも山の如し。
- (ろ) 如何にせば、救ふ事を得べきか。
- (は) 行き候とも、御馳走はなし下さるまじく候。
- (に) 何か面白き事これあり候はば御知らせ下され度候。

第七十一章

影…景色色
霜、露、霧
曲…典辭典
烈…行列列

- 一。(い) 笑ニシテシマ、テサツバリ聞カヌ
- (ろ) 陸地ノ少シノ影デサ、見ツケニクイ
- (は) ワレ、ニスナホデ無カツタ罪ヲ斷ツタ
- (に) 喜ビノアマリ知ラズ、ニ舞ヒラドル
- (は) 頭ニハ霜ヲノセ(白髪ノ事)身體ヲバ作ツタ足デ持チコタヘテキル
- (へ) 額ヲ兩手デカ、ヘテ人ニハ知レヌ涙ヲ流シタ
- 二。喜捨…ウレヨリ進ンデ物ヲササゲ又ハ施ス事 神曲…神ノ業ノ様ニ上手ナ音曲
- 烈士…節義ノカタイ人 自禮…目ツキデ禮ヲスル事 平然…平氣 兒童走卒

直…眞眞實
待…侍侍女
紳…神社
領…嶺山嶺

從容をじゆ
うようご読み
あやまるな
容…客客車

- …子供ヤ走り使スル者 直言…遠慮セズニ言フ事 人面獸心…顔ハ人ダガ心ハ獸ノ様ナモノ 獸待…獸ノ如クニアシラフ事 名手…名人
- 三。上手下手 紳士 大統領 盗人 戸締 手探 竈 留守勝 圓滿
- 一。赤穂義士 從容 精華 發揮
赤穂浪士…赤穂ノ浪人 苦難を忍び…苦勞ヲ辛抱シテ 仇を報ず…カタキヲ討ツ 從容死に就けるは…落チツイテ死ンダノハ 單に…タゞ 史上…歴史ノ上 一美談たるのみならず…一ツノ美シイ談デアルハカリテ無ク 精華…正味發揮…アラハス事
- 二。(い) 香ヤ花ノキレタ事ガナイ(參詣人ノタエマガナイ)
- (ろ) マダ互ニ知り合ハヌ
- (は) 罪ハ死刑ニ相當シテアル
- (に) 切腹ヲ言ヒ付ケラレル
- (は) 死ンデ不孝ノ罪ヲ斷ラウ

第七十二章

- 三。主婦たるものは座敷の床の間より臺所の戸棚に至るまで心を配るべきは勿論便所の隅より下駄箱の奥までも注意して不始末のなきやうにすべし

*棚のつくり
明と誤るな
隅…隅偶然

作文

東海道筋洪水の慘狀は日々新聞にて承知致し居り候へどもよもや御地迄は思ひ居候處大川橋流失の由をき、驚き入り候貴宅は大川迄は相當の距離あり候へば別條は無かるべきか、存じ候へども尙心配に堪へず候間、取急ぎ御見舞申上候

第七十三章

- 一。儒者……孔子孟子ノ道ヲ説ク學者 大任……大キナ役目 徳化……徳ニ感化セラレル事 範圍……區域 應分……身分相應
- 二。診察 吸殻 履歴 逃る 探る
- 三。(イ) 收入ヲ見積ツテ支出ヲ取シマルノヲ暮シ向ノ第一必要ノ事トスル (ロ) ソノ母親ニヨツテソノ子ノ性狀ヲ知レ(母親ノ教育ニヨツテ子ハ如何様ニモ變ルカラ) (ハ) ヒヨツトシタラ、國ヲ危クスル事ガアラウカト恐レル
- 四。(1) 一ツノ事ヲ他人ノ事ガ皆知レル (2) 多クテ數ヘルニヒマガナイ (3) 寢ル (4) 不幸ヲ受ケル (5) 大切ニシテ附キ添ヒ守ル (6) 心ノ中ニウチトケヌ所ガアル (7) 人ニ負ケナ
- 五。(イ) 書籍出版相成候はば御知らせ下され度候

制…製造
母…母

診…珍珍味

儒…需需要

(ろ) 鍛錬せざる身體は風雨寒暑に堪へず
(は) 敏活な人は失敗を悔むひまに業を求めてゐる

第七十四章

- 一。(イ) 勢ヲ以テ人ヲツグケ從ヘ、義(第三十三章ヲ見ヨ)ヲ以テ人ノ心ヲ感ジ動カス。 (ロ) 市中ノ惡風ニ感化セラレル事ヲ恐レテ、三度住居ヲカヘタ。 (ハ) 立身出世シテアガ唱フル道ヲ行ヒ、名ヲ後ノ世ニ迄モアゲテ、サウシテ、此ノ様ナ子ヲ育テタ父母ハ感心ナ人ダト世間ニアラハシ思ハスノハ孝行ノ仕上ゲテアル。
- 二。重臣……重イ役ノ臣 有司……官吏 人格……人ガラ 感奮……心ニ感ジテ奮發スル事 奏樂……樂器ヲナラス
- (イ) 實際ノ事ヲ打アケテ斷レ。
- (ロ) 弟子(門人)ガ人ノ行フベキ道ヲ問フ。
- (ハ) 君ハ君ダ臣ハ臣ダ、君臣ハソノ間ニ區別ガアル事。
- (ハ) 仲ヨクスル。
- (ハ) ソノ時代ノウチテ道ニスグレタ人トナツタ。

樂…樂服樂

弟…第及第

棒…捧捧呈
遺…遺遺言
裁…裁栽培

三。時雨 待遇 太鼓 繁昌 鼻息 面倒 金棒 氣遣 體裁 監督

第七十五章

答 案 第七十三、七十四章

國語受験準備書

七〇

師…帥元帥
選…撰撰著

一。門地…家柄 各自…度々…心ノ廣イ事 不具…カダハ 舉止
…振舞 容儀…ナリフリ

二。(イ) 國民ノ品格トイフノモメイ、一人々々ノ品格ト異ツタ事ハナイ

(ロ) 多クノ人ノ利ニナルカ害ニナルカラ考ヘテ行ヲ氣ヲツケルノヲ公德トイフ

(ハ) 年上ノ人ニハ道ヲヨケテ譲リ年幼イ者ニハスハリ場所ヲヤルガ如キ行ヲ見テ其心ノ奥ユ
カシイ事ヲ感ゼナイカ

(ニ) 先生ノ命令ヲ尊ビ守ツタラ學生ノ盡スベキ責任ヲ十分ニスル事ガ出來ル

(ハ) 人ノ種族ガドウデ有ツテモ構ハズニ、世間ダイフ所ノ四海兄弟(天下中ノ人ハ兄弟ノ様
ダ)トイフ心ヲ以テ出アヘ

三。合札 間違 博覽會 選舉資格 手續 獨立 踏段

第七十六章

一。衆を抜く…多人數ノ中デ勝レテキル や、もすれば…都合ニヨルト

一語を交へず…一言葉モカハサヌ 國情を詳にせず…國ノ事情ヲ詳シク知ラヌ
絶ててなし…サツパリ無イ。

二。(イ) 何をか自治の精神といふ…如何ナル事ヲハ自治ノ根本ノ意味トイフカ

公共の事に任じ…世間一般ノ人ノタメニナル事ヲ引受ケテ 誠意…マゴコロ

威…威
勸…勸
觀…觀

力を致す…盡カスル。

(ロ) 専ら…イチツニ 人となり…ソノ人ノ性質 私交上の關係…ウチウ

チノ上デノ交際ノ間柄 威力の強制…威光ヲ無理ニ押ヘツケル事

私利の勧誘…利益ヲ以テサソヒス、メル事 左右せらる…人ノ思フマ、ニ

動かサレル。

(ハ) 制度の運用は人にあり…オキテヲ扱フノハ人デアル いくんぞ其の美

果を收むることを得んや…ドウシテ其ノ善イ結果ヲ得ル事ガ出來ヨウカ

三。繁簡の別…イツガシイノトヒマナトノ違ヒ 適任者…役目ニ適當ノ人

助長…助ケテ善クスル事 輔弼…政務ナドヲタスケル事 人心の作興…人心ヲ

フルヒオコス事 人倫の常經…人トシテ守ルベキ道德ノキマツタスチ道

四。衆議院 豫算案 區別 結局 推量

五。(イ) 今日是好天氣に候間(候へば)品川方面へ散歩に行かんぞ存じ候

(ロ) 若し御賛成に御座候はば、午前十時までに拙宅へ御越し下されたく候

(ハ) 晝食は御越し下さるべき見込にて母に辨當を頼みおき候間御心配下
さるまじく候

辨…辨
辯…辯

*豫のへんを
予にすな

助…助
倫…論

第七十九章

斥…斤きん

提…堤堤防

互…互元且
互…互わたる
避…癖くせ

- 一〇 衣食ナドニオゴラヌ事ヲ第一ノ心ガクトシナケレバ、ハツノ間ニカ、体裁ハカリツクラウテ(文事ニ流レテ)元氣ガ弱ル様ニ成ツテシマヒ、フワ〜トシタ心ニソマリ、心モムヤミ、下品ニナツテ、ミサヲモ武勇モ忘レテシマツテ、世間ノ人ノ排斥ヲ受ケル様ニ成ルデアラウ。
- 二〇 統率…スベヒキキル 復古…古ノ様ニカヘル 順逆理非…順フト逆フト道理ト道理デナイコトト 烏合の衆…規律ナキモノ寄集リ 参政權…政治ニ關係スル 權利 協贊…國會ニテ法律及豫算ニツキ相談シテキメル事 提出…差出ス事 聖旨…陛下ノ御心 權能…權利 服膺…心ニトメテオク事。
- 三〇 互選 處理 聽衆 彫刻 舉手 慶賀 避難

海行かば水づくかばね山行かば草蒸すかばね大君の邊にこそ死なぬ願みはせじ…天皇陛下ノ御爲ナラバ、若シ我身ガ海行ク時デアツタラ、溺レテ屍ナク水ニ流ケテモ厭ハヌ。又、山行ク時デアツタラ、死ンテ屍ノ上ニ草ガ生ヘテモ構ハヌ。兎ニ角モ陛下ノ御爲ニ深ク死ナウトコソ思ヘ、我が一身ヲ願ヒ忠告未練ノ振舞ナドハ、飽ク迄モシナイ覺悟デアアル。

新國定教科 國語受驗準備書答案終

明治四十三年九月十三日印刷
明治四十三年九月二十日發行

國語受驗準備書

定價金參拾五錢

寶文館編輯所編纂

發行者 大葉久吉
東京市日本橋區本石町三丁目十七番地

發行所 岡平助
大阪市東區備後町四丁目七十八番屋敷

印刷者 島田安吉
神戸市兵庫湊町二丁目二十六番地

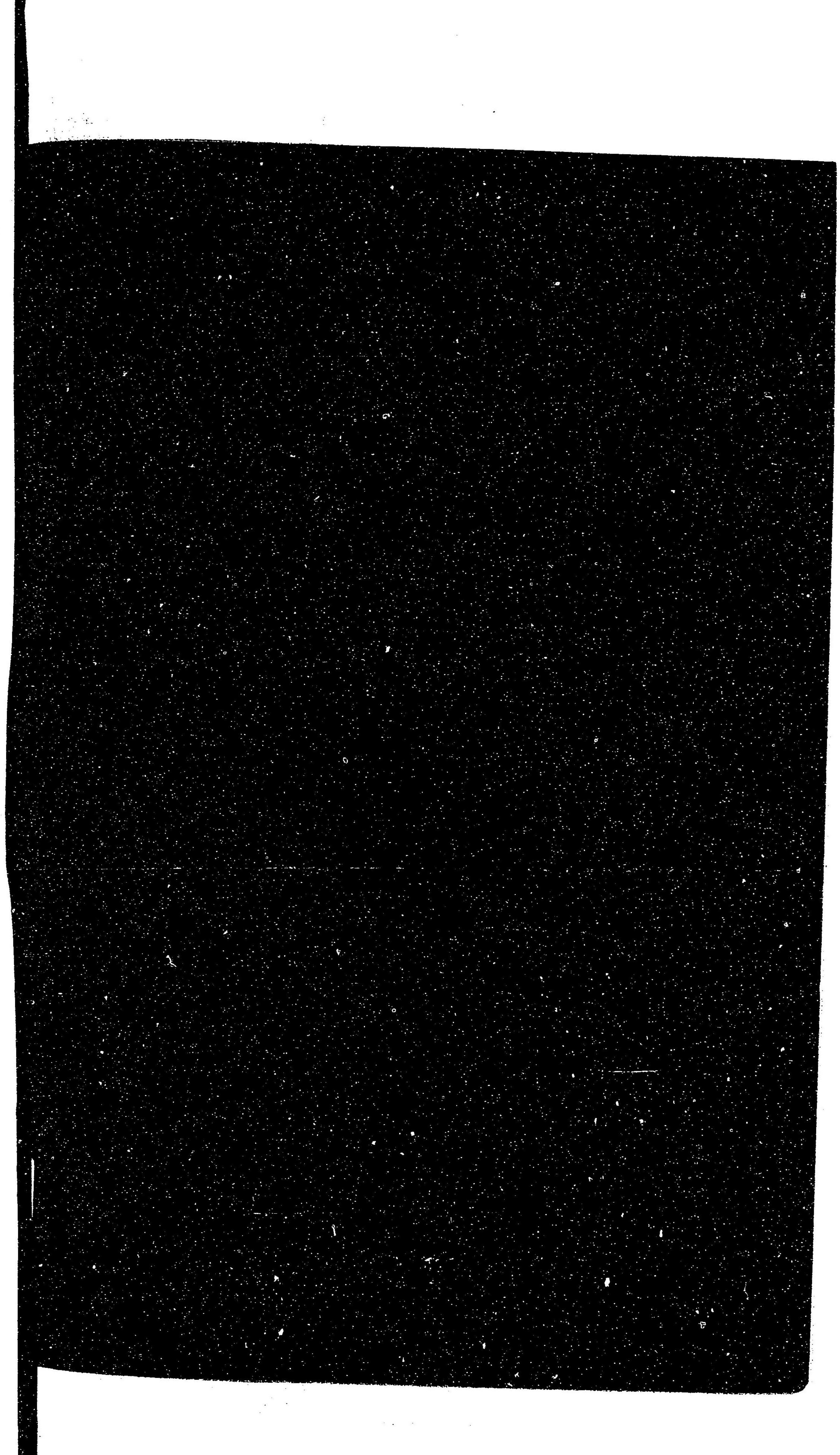


發兌元

東京市日本橋區本石町三丁目
大坂市東區備後町四丁目
神戸市元町五丁目

寶文館

265
306



049815-000-2

特26-63

新国定教科書に基ける国語受験準備書

宝文館

M43

BEM-0547

